

防衛施設建設工事及び建設コンサルタント業務における電子成果品の作成及び留意事項について

当省が発注する防衛施設建設工事及び建設コンサルタント業務で特記仕様書にて提出が求められている案件につきましては、「防衛施設建設工事に係る電子納品手引書について（通知）」に基づき作成された電子成果品を提出することとなっております。

しかしながら、提出された電子成果品の一部において、適切な基準で作成されていないため、電子データの保管先である電子納品保管管理システムへの登録ができない状況にあります。

つきましては、電子成果品を作成される際には以下の点に十分注意し、作成していただきますようお願いします。

1 当省の手引書に基づいた電子成果品の作成について

「防衛施設建設工事に係る電子納品手引書について（通知）」で指定された基準等に基づき、作成をお願いします。

なお、上記、当該手引書は下記の「防衛施設建設工事電子入札システムホームページ(受注者WEB)」内に掲載されておりますので、ご参照ください。

【防衛施設建設工事電子入札システムホームページ(受注者WEB) URL】

<http://www.dfeg.mod.go.jp/hp/contents/manual.html>

2 建築・設備工事等の電子成果品作成時の注意事項について

建築又は設備における工事及び業務（設計、調査）の内、以下の場合に該当する電子成果品の作成については、「INDEX」（工事の場合は「INDEX_C.XML」、業務の場合は「INDEX_D.XML」）の内容に留意の上、作成をお願いします。

- ・工事の電子納品CD（DVD）に工事写真等ファイルを格納するため「OT HRS」フォルダ等を作成する場合（別紙1参照）。
- ・業務（設計、調査）の電子納品CD（DVD）に工事写真等ファイルを格納するため「OTHRS」フォルダ等を作成する場合（別紙2参照）。

3 電子成果品の最終チェックについて

電子成果品作成後は建築・設備工事等については、国土交通省の「電子成果物作成支援・検査システム(Ver3.02)」により、土木工事等については、国土交通省の「電子納品チェックシステム(Ver10.1)」によりチェックすることでエラーがないことを確認し、ウイルスチェックを実施の上で提出をお願いします。

※使用するシステムにつきましては、バージョンをお間違えのないようご注意ください。必ず当省指定のバージョンでチェックしていただきますようお願いいたします。

【電子成果品作成支援・検査システムVer3.02(国土交通省電子納品関連ホームページ内)URL】

http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_siryou24.html

【電子納品チェックシステムVer10.1(国土交通省電子納品関連ホームページ内)URL】

http://www.cals-ed.go.jp/edc_old/

【（参考例）建築、設備における工事のINDEX】

```
?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
!DOCTYPE gyomudata SYSTEM "IDX_B02.DTD">
gyomudata DTD_version="02">
```

<基礎情報>

<メディア番号>1</メディア番号>

<メディア総枚数>1</メディア総枚数>

<メディア種別>CD-R</メディア種別>

<メディアフォーマット>IS09660LEVEL1</メディアフォーマット>

<図面フォルダ名>DRAWING</図面フォルダ名>

<図面オリジナルファイルフォルダ名>DRAWING/ORG</図面オリジナル
ファイルフォルダ名>

<資料フォルダ名>REPORT</資料フォルダ名>

<資料オリジナルファイルフォルダ名>REPORT/ORG</資料オリジナルファ
イルフォルダ名>

<その他フォルダ名>OTHR</その他フォルダ名> 【「SURVEY」, 「BORING」も同様】

<その他オリジナルファイルフォルダ情報>

<その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG001</その他オリジナル
ファイルフォルダ名>

<その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>完成写真</その他オリジナル
ファイルフォルダ日本語名>

</その他オリジナルファイルフォルダ情報>

<その他オリジナルファイルフォルダ情報>

<その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG002</その他オリジナル
ファイルフォルダ名>

<その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>施工写真</その他オリジナル
ファイルフォルダ日本語名>

</その他オリジナルファイルフォルダ情報>

</基礎情報>

.....

.....

その他フォルダに関する
記載がある場合は枠線部
分を削除してください。

【（参考例）建築、設備における業務（設計、調査）のINDEX】

```
?xml version="1.0" encoding="shift_jis"?>
!DOCTYPE gyomudata SYSTEM "IDXD_B02.DTD">
gyomudata DTD_version="02">
```

<基礎情報>

```
<メディア番号>1</メディア番号>
<メディア総枚数>1</メディア総枚数>
<メディア種別>CD-R</メディア種別>
<メディアフォーマット>ISO9660LEVEL1</メディアフォーマット>
<図面フォルダ名>DRAWING</図面フォルダ名>
<図面オリジナルファイルフォルダ名>DRAWING/ORG</図面オリジナル
ファイルフォルダ名>
<資料フォルダ名>REPORT</資料フォルダ名>
<資料オリジナルファイルフォルダ名>REPORT/ORG</資料オリジナルファ
イルフォルダ名>
```

その他フォルダに関する
記載がある場合は枠線部
分を削除してください。

```
<その他フォルダ名>OTHR</その他フォルダ名>【「SURVEY」,「BORING」,「PHOTO」
<その他オリジナルファイルフォルダ情報> も同様】
<その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG001</その他オリジナル
ファイルフォルダ名>
<その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>完成写真</その他オリジナル
ファイルフォルダ日本語名>
</その他オリジナルファイルフォルダ情報>
<その他オリジナルファイルフォルダ情報>
<その他オリジナルファイルフォルダ名>OTHR/ORG002</その他オリジナル
ファイルフォルダ名>
<その他オリジナルファイルフォルダ日本語名>施工写真</その他オリジナル
ファイルフォルダ日本語名>
</その他オリジナルファイルフォルダ情報>
</基礎情報>
```

.....